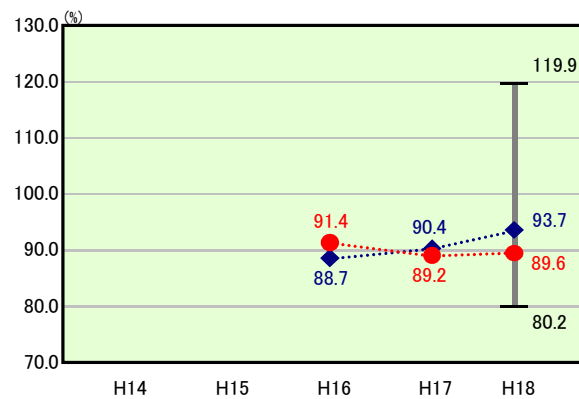


# 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

岡山県 瀬戸内市

## 経常収支比率の分析

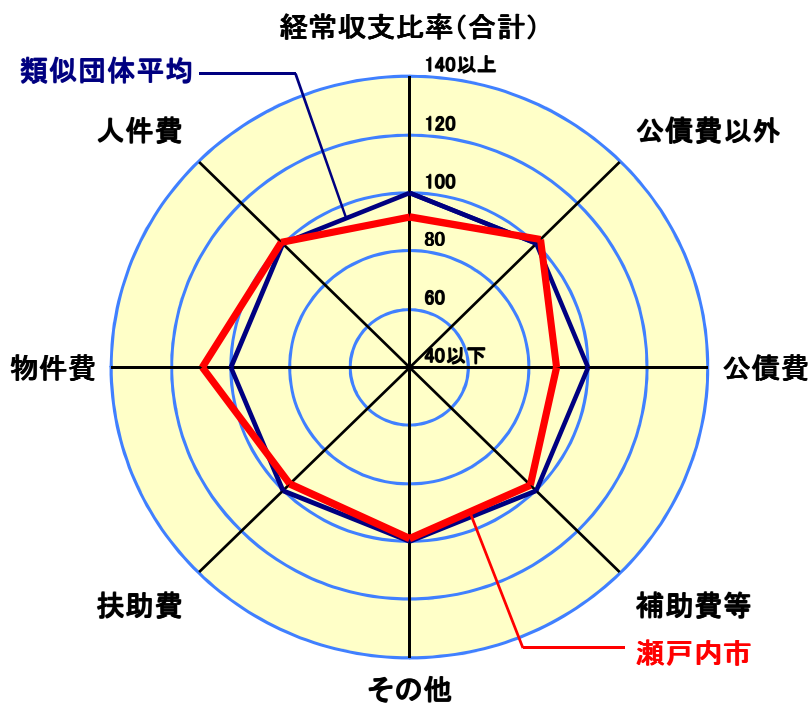
経常収支比率(合計)



当該団体値 ●  
類似団体内平均値 ◆  
類似団体内最大値 T  
類似団体内最小値 I

人口 39,770人(H19.3.31現在)  
面積 125.53km<sup>2</sup>  
歳入総額 14,837,679千円  
歳出総額 14,470,312千円

H18類似団体内順位 30/132  
全国市町村平均 90.3  
岡山市町村平均 92.3



※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)  
※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。  
※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**【人件費】**  
職員削減などの取り組みにより年々下がっているが、集中改革プランに沿って平成17年度から平成22年度までの5年間に29人削減(公営企業会計を除く)の目標に対し、引き続き数値目標が達成できるよう取り組む。

**【物件費】**  
類似団体平均に比べ高くなっている要因は、施設の管理経費が多額に上っているためである。今後は、事務事業の見直しをはじめ、施設の統廃合や民営化、指定管理者制度の導入など積極的に経常経費の削減を図る。

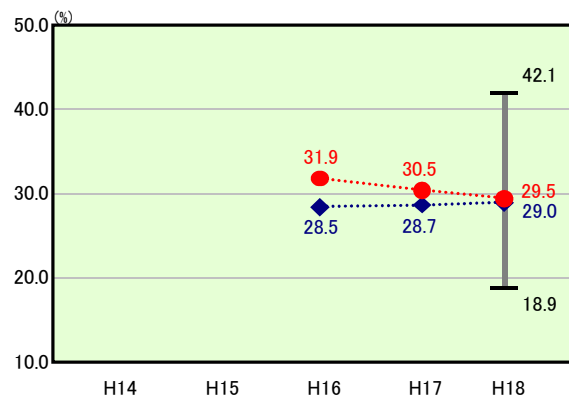
**【扶助費】**  
類似団体平均とほぼ同水準で推移している。少子高齢化に伴う国の施策に伴う社会保障費の伸びにより比率も上昇しているが、今後も単独事業の見直しを行うなど財政を圧迫する上昇傾向を抑制するよう努める。

**【補助費等】**  
各種団体活動補助金の見直しなどにより年々比率が下がっており、類似団体平均を下回っている。今後もさらに各種の給付事業や団体補助金の見直しを図り、積極的に経常経費の削減を図る。

**【公債費】**  
類似団体平均を下回っているが、今後は合併特例債や臨時財政対策債の元金償還が始まるなど上昇が見込まれ、非常に厳しい財政運営となるが予想される。今後は公債費負担適正化計画に沿って、市債発行総額を原則その年度の元金償還額を下回る額に抑え、公債費の抑制を図る。

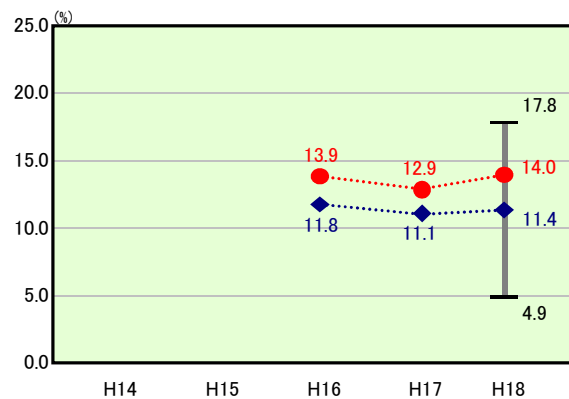
**【その他】**  
繰入金の増加により年々上昇している。下水道整備を短期間に集中して実施しているためであり、今後は元金償還が始まることで大きく上昇することが見込まれる。今後は公債費負担適正化計画に沿って、公共下水道整備の現計画を延伸し、事業費を縮小することで市債の発行を抑え、公債費に伴う繰入金の増加の抑制を図る。

人件費



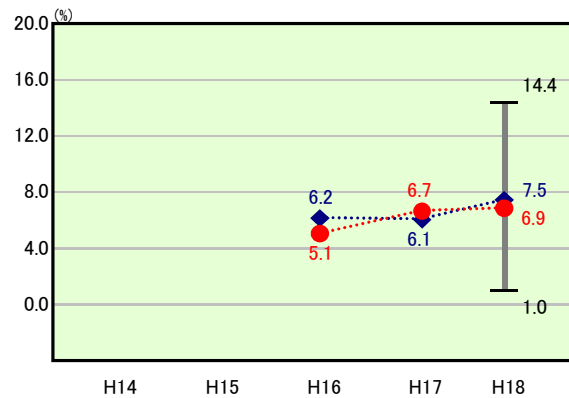
H18類似団体内順位 73/132  
全国市町村平均 28.2  
岡山市町村平均 28.2

物件費



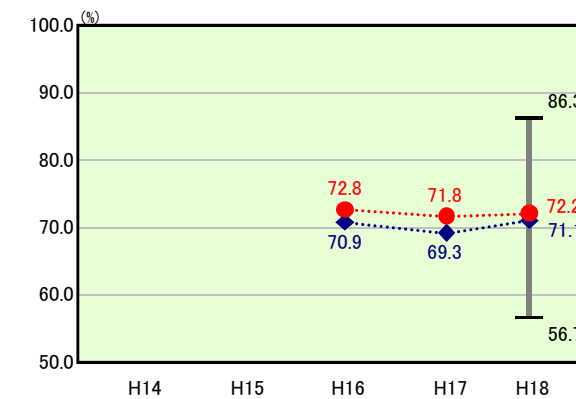
H18類似団体内順位 109/132  
全国市町村平均 12.9  
岡山市町村平均 11.8

扶助費



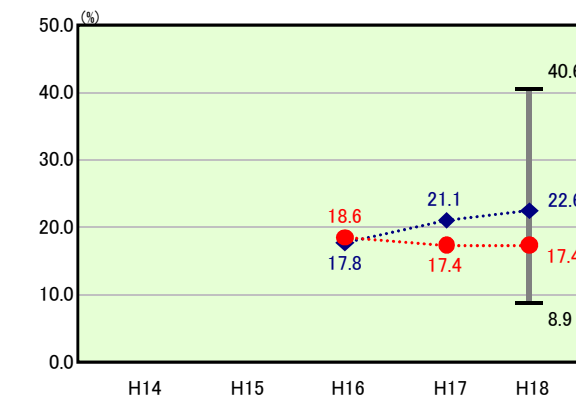
H18類似団体内順位 64/132  
全国市町村平均 8.6  
岡山市町村平均 8.6

公債費以外



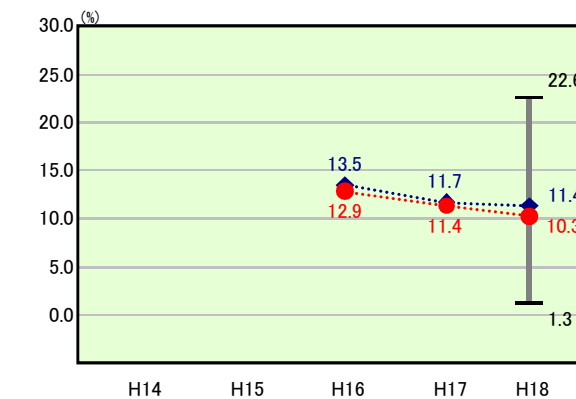
H18類似団体内順位 74/132  
全国市町村平均 70.5  
岡山市町村平均 70.2

公債費



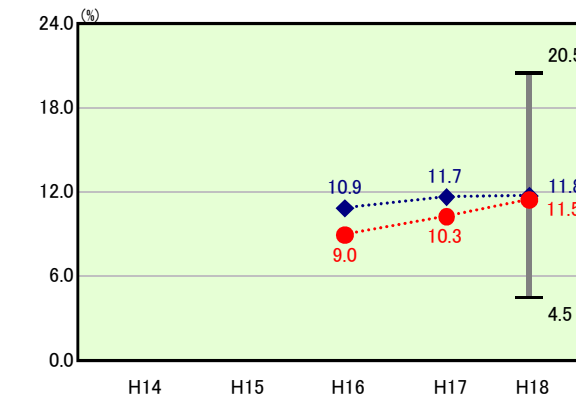
H18類似団体内順位 23/132  
全国市町村平均 19.8  
岡山市町村平均 22.1

補助費等



H18類似団体内順位 50/132  
全国市町村平均 10.2  
岡山市町村平均 7.6

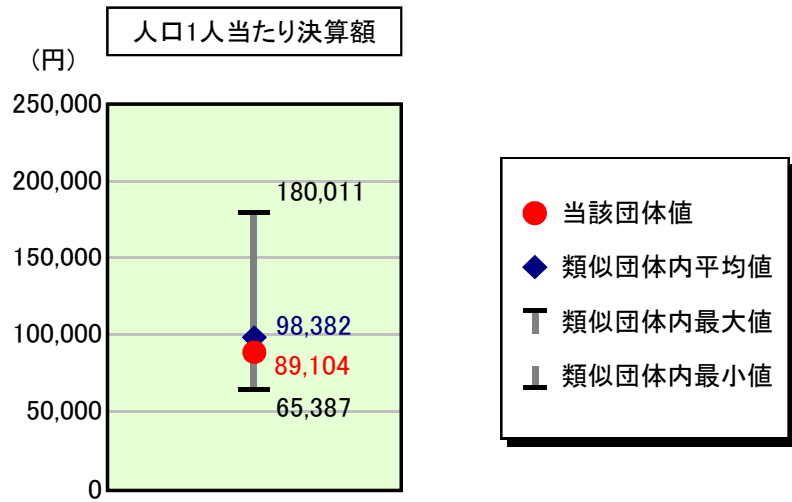
その他



H18類似団体内順位 63/132  
全国市町村平均 10.6  
岡山市町村平均 14.0

# 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



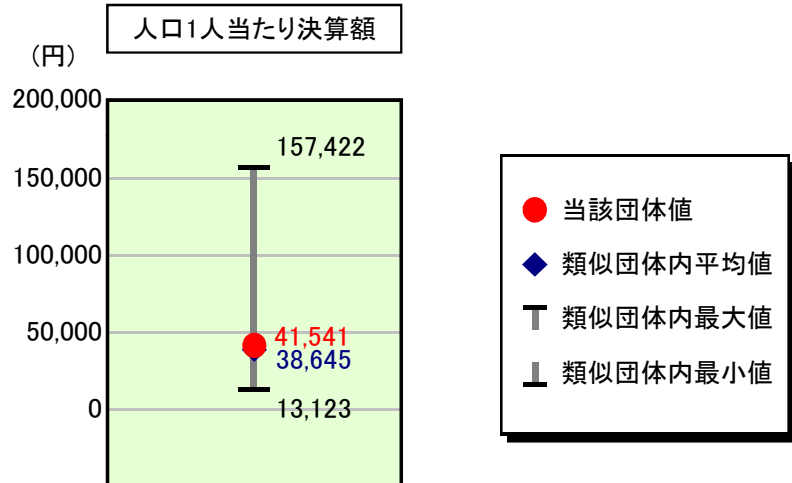
### 人件費及び人件費に準ずる費用

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	3,158,160	79,411	88,044	▲ 9.8
賃金(物件費)	351,796	8,846	4,518	95.8
一部事務組合負担金(補助費等)	36,191	910	10,189	▲ 91.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	145,111	3,649	512	612.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	107,525	2,704	3,339	▲ 19.0
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	35,352	889	1,951	▲ 54.4
▲退職金	▲ 290,475	▲ 7,304	▲ 10,172	▲ 28.2
合計	3,543,660	89,104	98,382	▲ 9.4

### 参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	10.23	9.60	0.63
ラスパイレス指数	92.2	95.6	▲ 3.4

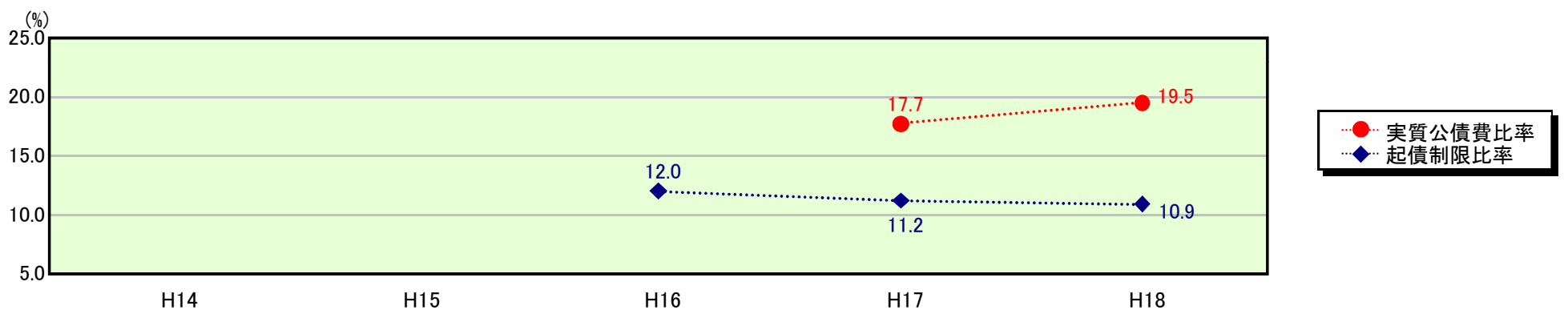
## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	1,735,909	43,649	60,200	▲ 27.5
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	29	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	243,808	6,130	13,851	▲ 55.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	156,387	3,932	4,358	▲ 9.8
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	557,544	14,019	2,323	503.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	42	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,041,581	▲ 26,190	▲ 42,157	▲ 37.9
合計	1,652,067	41,541	38,645	7.5

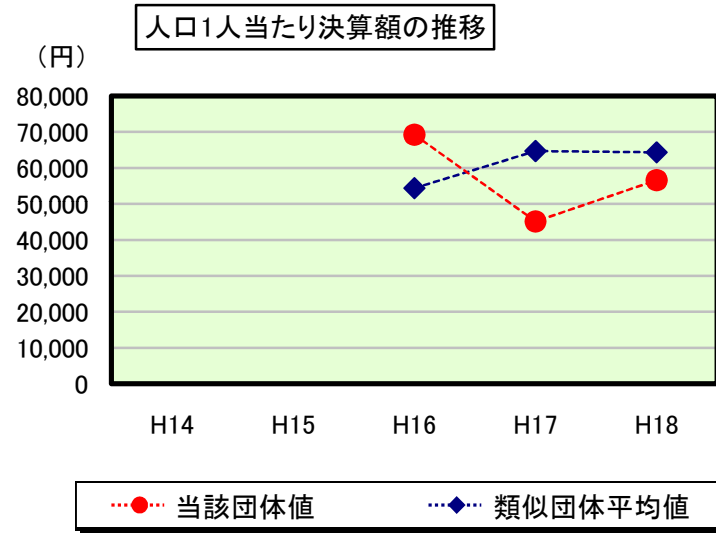
### ※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



# 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

岡山県 瀬戸内市

## 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H14	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H15	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H16	2,789,239	69,220	-	54,368	-	-
うち単独分	2,033,004	50,453	-	38,585	-	-
H17	1,802,224	45,101	▲ 34.8	64,690	19.0	▲ 53.8
うち単独分	1,165,931	29,177	▲ 42.2	39,427	2.2	▲ 44.4
H18	2,251,400	56,611	25.5	64,305	▲ 0.6	26.1
うち単独分	1,297,821	32,633	11.8	34,136	▲ 13.4	25.2
過去5年間平均	2,280,954	56,977	▲ 4.7	61,121	9.2	▲ 13.9
うち単独分	1,498,919	37,421	▲ 15.2	37,383	▲ 5.6	▲ 9.6